

オープンリサーチプロジェクト バイオテクニカルセミナー

日時：3月3日(火)17:30-19:00
場所：歯学部5階 第3講義室
受講講：無料（演題を選択して1演題からの受講も可能）
先生方はもちろん、大学院生等も大歓迎！

問合せ先：歯学部 口腔解剖学第2講座 鍵谷忠慶（内線4536）
e-mail：tkagiya@iwate-med.ac.jp

1. リアルタイムPCRの基礎知識と応用例 発現解析、SNP解析など様々な解析法のご紹介

タカラバイオ株式会社 機器販売課 岡澤一秀（25分）

リアルタイムPCRは、遺伝子の定量解析のツールとして今や研究者に必須の技術となっています。その原理はシンプルであるが故に応用範囲も広く、日進月歩でさまざまな技術が開発されています。本セミナーでは、リアルタイムPCRの検出原理やケミストリーを解説すると共に、国産初の本格的リアルタイムPCRシステム「Dice RealTime」を用いた相対発現定量法、さらにはSNPs解析への応用例などをご紹介します。



2. 各種オミックス解析へ利用が進む次世代型高速シーケンス技術 ～ 主要3機種の効果的な利用法のご提案 ～

タカラバイオ株式会社 営業部 橋爪克仁（40分）

次世代型とよばれる高速シーケンサーの登場により、オミックス研究の進展速度は飛躍的に向上してきました。現在までに実用化された主要なプラットフォーム3種類は、従来のシーケンサーの数倍以上の解析能力を持っており、シーケンス解読量と解読スピードに革命をもたらしていますが、重要なのは、研究対象と目的に応じて、それぞれのシステムが持つ特徴を生かした利用を行うことと考えられます。新規ゲノムの解析、リシーケンスによる変異解析や比較ゲノム解析、メタゲノム解析、トランスクリプトーム解析、エピゲノム解析等、各種のオミックス解析への効果的な利用について、データの情報処理面での課題なども含めご説明し、それらをサポートする受託解析サービスの内容についてご紹介致します。

3. 世界初！動物細胞発現システムProteoTuner™ System ～ post-translationalなタンパク質量のコントロール技術 ～

タカラバイオ株式会社 東日本販売課 梅田直（25分）

米国クロンテック社は、従来の発現調節法とは全く異なるpost-translationalな段階でタンパク質発現量を制御できる新製品ProteoTuner™ Systemを開発しました。本システムは、生細胞中の目的タンパク質のプロテアソーム分解を、低分子化学物質(Shield1)の添加量に応じて自在に制御できる画期的なシステムであり、目的タンパク質の存在時期、存在量を迅速かつ可逆的に制御することが可能です。

本セミナーでは、遺伝子・タンパク質機能解析研究への本システムの有効性をご紹介します。